



ウリハダカエデの冬芽

# 里山通信

## 『蒲沢(かばさわ)』


第7号

平成18年 2月 6日発行

発行責任者

里山ねっと「赤坂」

代表 和田 伸太郎

 「小枝にぶらさがる緑の葉、近寄ってみるとそれはウスタビガの繭でした」。

2月4日(土)は、昨日までの大雪がうそのようになり、冬の里山歩きにはもってこいの好天になりました。参加者は12名、他に、仙台森林管理署の佐藤さんがガイドとして参加してくださいました。里山は、ここ数日の大雪であたり一面白銀の雪景色、カンジキをつけて歩き出して、早くも野うさぎやキツネの足跡を発見、さらにカモシカの足跡も見つけることができました。

途中、佐藤さんから色々な樹木の冬芽の話をお聞きしながら、約3時間半で一回りして全員元気で帰ってきました。写真だけ見るとまるで八甲田山の山行でもしてきたようにみえますが、じつは、赤坂ニュータウンの裏山(蒲沢山)の風景です。実際、途中尾根伝いの道から、赤坂ニュータウンの家並みがよく見えました。19日(日)も昨年11月に引き続いて、「ヒノキ林の枝打ち体験」をいたします。そのときもまた、カンジキをつけて冬の雑木林のなかに入りますので、是非ご参加ください。

